



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2020年  
8月31日  
発行

第51回

臨時号「安倍退陣と株式市場」

## ～後継は河野防衛相と茂木外相が有力～

### 初めに

8月28日安倍晋三首相が辞意を表明しました。理由は体調不良です。安倍首相は後任については自民党執行部に任せるとしておりこれで後継レースの号砲が鳴ったことになります。今回は次期首相は誰か、また株式市場にはどのような影響があるかなどについて考えます。

### 次期首相は誰か

次期首相として自分が有力と見ているのは茂木外相と河野防衛相の二人です。茂木氏は第二次安倍政権発足時の経産相を皮切りに閣僚・自民党政調会長などの要職を歴任しています。一方河野氏は消費者担当大臣に任命されてから外相・防衛相などを歴任しています。この様にこの2人が常時要職にあることは安倍首相の信頼が厚い事を示していると思います。これがこの2人が安倍氏の有力後継候補と考える一つ目の理由です。

### 豊富な海外経験

茂木氏と河野氏は共に海外の大学を卒業し、かつ外相を経験しています。現在の国際情勢は緊迫化しており首相に外交のセンスが求められる機会は益々増えると思います。その点この2人であれば問題はあまりないでしょう。これが2つ目の理由です。

### 派閥の支援

3つ目の理由は両者とも茂木氏であれば竹下派、河野氏であれば麻生派と、所属する派閥の支援が見込まれることです。以上3つの理由でこの2人が有力候補と考えています。

### その他の有力候補

岸田政調会長・石破元幹事長・菅官房長官なども有力な後継候補です。しかしこうした方々は安倍首相とほぼ同じ世代です。自分は安倍政権が長かっただけに世代交代が総裁選びでは求められるのではないかと見ています。その様に考えてこの方々が新総理になる可能性は低いと思います。以上述べたように新総理としては茂木外相と河野防衛相が有力と考えていますが、その場合の市場の反応についてコメントしておきます。両者とも安倍政権の一員として要職を担っていることから総理になった場合基本的には安倍首相の政策を踏襲すると思われる。それであれば金融市場の波乱要因になるリスクは小さいと考えています。特に経産相の経験が豊富な茂木氏の場合は、最近英国との新通商条約が大筋合意と報じられていますがこの様に経済や市場に配慮した政策運営が期待できそうです。

### リスク

リスクとして考えられるのは新総裁選びが混乱することです。新型コロナの状況を勘案して今回は総裁選は行わず両院議員総会で新総裁を選出する予定ですが、一部の議員はこの方針に不満を持っているとの報道もあります。もし総裁選びが混乱するようなことがあればこれは金融市場にとってのリスクとなることも考えられます。

この文章には特定の政治家に関するコメントがありますがこれは筆者自身の意見であり西村証券の意見ではありません。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。